

平成 29 年 10 月 13 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号: 2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえて、当期の業績予想を新たに見直した結果、平成 29 年 4 月 14 日付「平成 29 年 3 月期 決算短信[日本基準] (連結)」において発表いたしました平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 29 年 4 月 14 日発表)	15,600	1,100	1,100	720	47.84
今回修正予想 (B)	14,000	900	900	600	39.86
増減額 (B - A)	△1,600	△200	△200	△120	
増減率 (%)	△10.2	△18.2	△18.2	△16.6	
(参考) 前年同期 (平成 29 年 3 月期) 実績	15,851	1,269	1,268	831	54.48

(修正の理由)

売上高については、主力の広告事業において、クライアントであるパチンコホール企業の広告費抑制が急激に進んでおり、とりわけ売上高構成比の最も大きい折込広告については、当第 2 四半期連結累計期間において、前年同期比 25%超の著しい下落で進捗しております。また、下期においてもこうした傾向は継続するものと見込まれます。そのため、当社グループでは、収益構造の転換を図るべく、従来の紙媒体広告からインターネット広告へのシフトを急ピッチで進めておりますが、当期においては、紙媒体広告の需要減少の影響を相殺するまでには至らないと見込まれることから、前回発表予想比で△1,600 百万円の減少を見込んでおります。

営業利益、及び経常利益については、インターネット広告の拡販が順調に推移しているものの、折込広告等、紙媒体広告の売上高の大幅な減少に伴うマージン減少の影響により、それぞれ従来予想比で△200 百万円の減少となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、主として上記のマージン減少の影響により、従来予想比で△120 百万円減少となる見込みです。

なお、当社では、配当の基本方針として、連結配当性向 50%を目安としておりますが、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上